
赤潮警報続報（シャットネラ マリーナ）

鹿児島県水産技術開発センター
平成25年6月6日

鹿児島湾赤潮警報 No. 3

[1] 6月6日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

本日、鹿児島湾を調査したところ、牛根麓漁港奥でシャットネラ マリーナによる着色域が確認され、細胞数は表層で861cells/mlでした。その他の海域では着色域は確認されず、全定点で本種が確認され、細胞数は表層で1~28cells/mlでした。珪藻類は全体的にやや多い状況でした。

(2) 海況

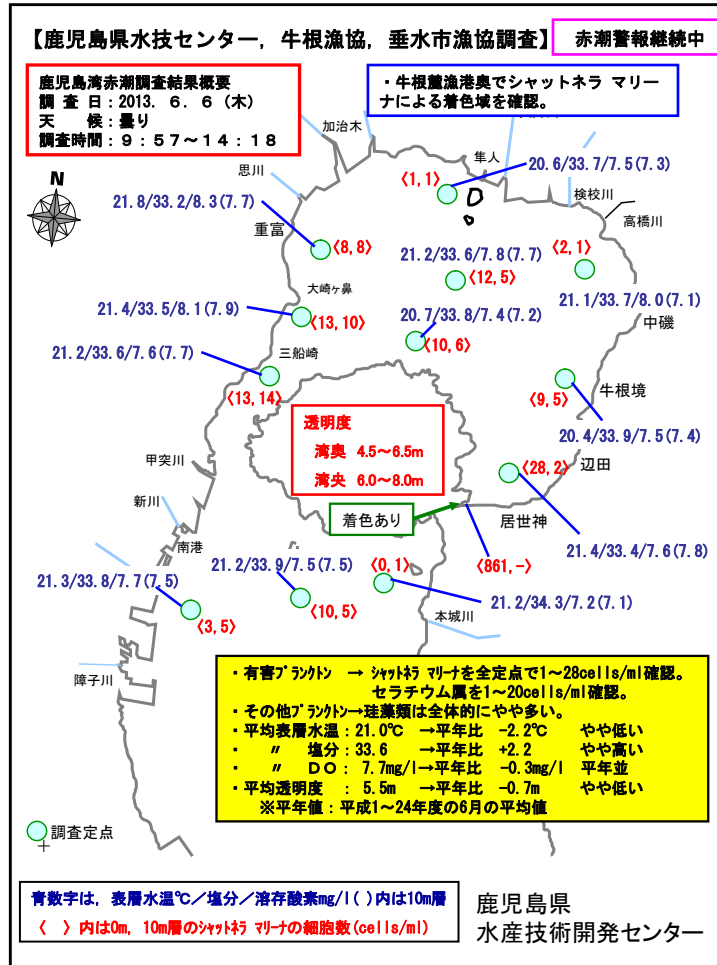
表層水温は湾央部で21.2~21.3℃、湾奥部で20.4~21.8℃と平年同時期よりやや低く、塩分は33.2~34.3と平年同時期よりやや高く、透明度は4.5~8.0mで平年同時期よりやや低くなっています。

水温：平均 21.0℃ 湾奥部 20.9℃ 湾央部 21.2℃
塩分：平均 33.6 湾奥部 33.6 湾央部 33.5
透明度：平均 5.5m 湾奥部 5.6m 湾央部 5.5m

(平年値は平成1~24年の6月の平均値)

[2] 今後の赤潮発生の予想

今回の調査では、湾央部でもシャットネラ マリーナが確認されました。明日以降しばらくは天候が回復する予報であることから、今後細胞数が更に増加し、着色域が拡大する可能性があります。よって、出現海域付近の養殖場では検鏡により細胞数の動向を把握し、海水の色や魚の状態に細心の注意を払うとともに、餌止めの徹底等の対策が必要です。



赤潮情報(携帯用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>
赤潮図鑑(パソコン用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>